



## <別紙> 【患者・家族に聞くアトピー性皮膚炎の治療とコミュニケーション実態調査】

### 概要

実施時期	2018年8月8日(水)～2018年8月21日(火)
調査方法	インターネット調査
調査対象	[患者さん] - 15歳以上の男女 - 近畿圏(奈良、京都、大阪、兵庫、和歌山、滋賀、三重)に在住している - アトピー性皮膚炎(重症度が中等症以上)と医師から診断を受けている [患者さんのご家族] - 近畿圏(奈良、京都、大阪、兵庫、和歌山、滋賀、三重)に在住している - 一親等の親族(親・15歳以上のお子様)または配偶者がアトピー性皮膚炎(重症度が中等症以上)と医師から診断を受けている
有効回答数	患者さん: 200名、患者さんのご家族: 200名
調査監修	近畿大学医学部 皮膚科学教室 講師・医学博士 柳原茂人先生
調査委託先	株式会社エム・シー・アイ

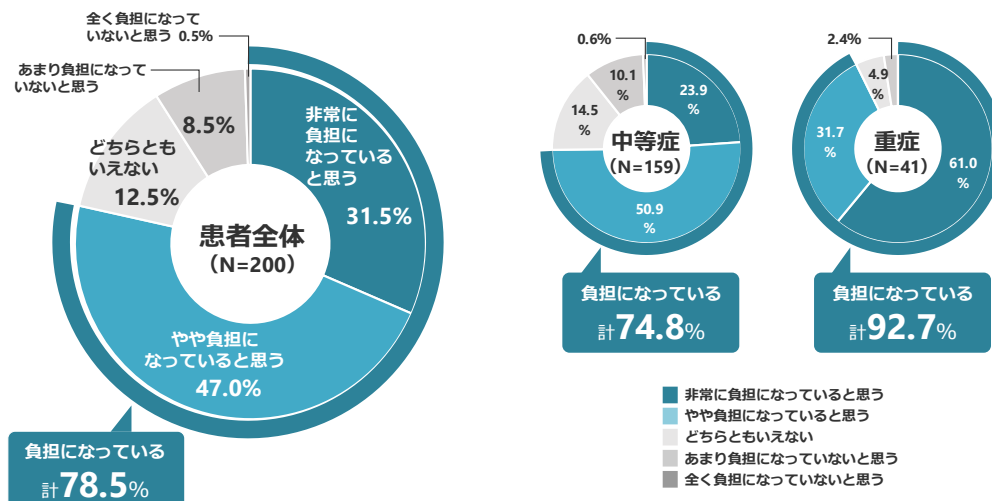
### 調査結果 (青グラフ:患者さんに対する質問、赤グラフ:ご家族に対する質問)

#### 1. アトピー性皮膚炎の患者さんの78.5%が「心理的/精神的負担」を感じていると回答。

日常生活で最も支障があると感じる場面は「睡眠」で51.0%、次いで「勉強/仕事」、「スポーツ・レジャー」

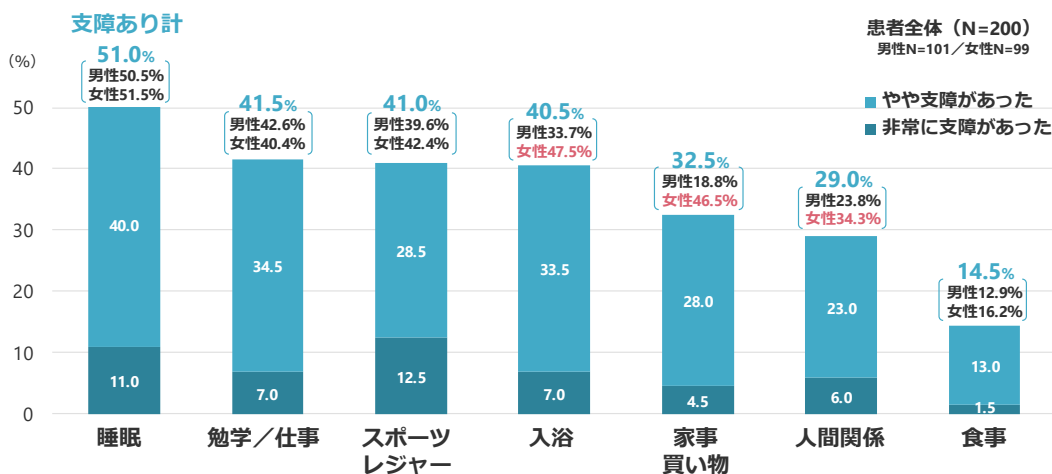
- アトピー性皮膚炎が「心理的/精神的負担になっている(非常に負担になっていると思う、やや負担になっていると思う)」と回答した患者さんは全体の78.5%で、重症度が高いほど負担に感じている割合も高い。
- 直近1カ月において、アトピー性皮膚炎の症状が食事や睡眠、入浴などそれぞれの項目で日常生活にどの程度支障を与えたかについて聞いたところ、「睡眠」に支障があったと回答した人が51.0%と最も多く、次いで「勉強/仕事」が41.5%、「スポーツ・レジャー」が41.0%であった。
- 男性に比べ女性の患者さんの方が日常生活に支障があると感じている割合が高く、特に「睡眠」、「入浴」、「家事・買い物」においては、女性患者さんのおよそ2人に1人が支障を感じている。
- 4割以上の患者さんが「睡眠」、「勉強/仕事」、「スポーツ・レジャー」、「入浴」に支障があると感じており、炎症やかゆみなど直接的な症状だけにとどまらない、アトピー性皮膚炎による「疾病負荷」の重さが示唆される結果となった。

#### Q1-1. アトピー性皮膚炎は、あなたにとって心理的/精神的負担になっていますか。





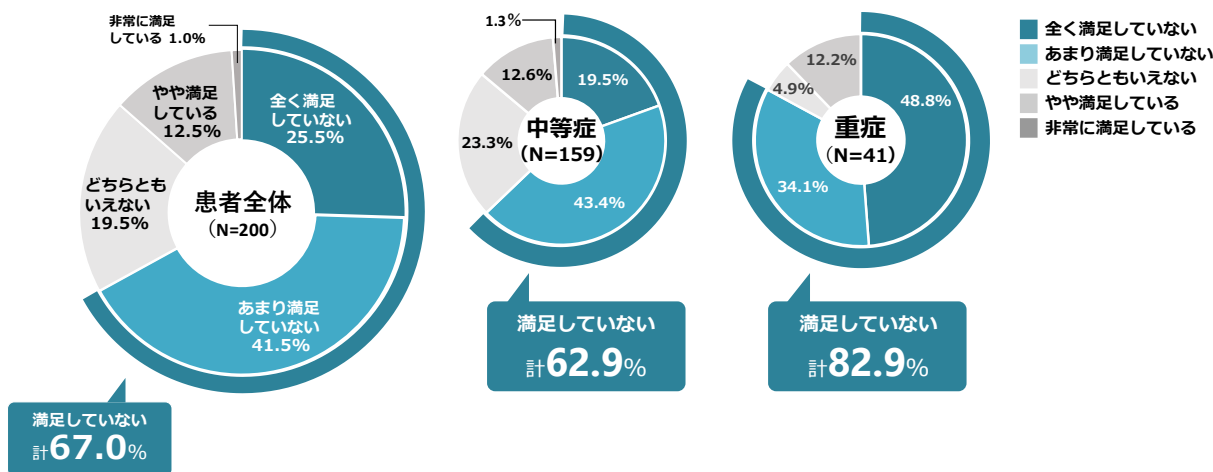
Q1-2. 直近1ヶ月間において、あなたのアトピー性皮膚炎の症状は、日常生活にどの程度支障を与えましたか。



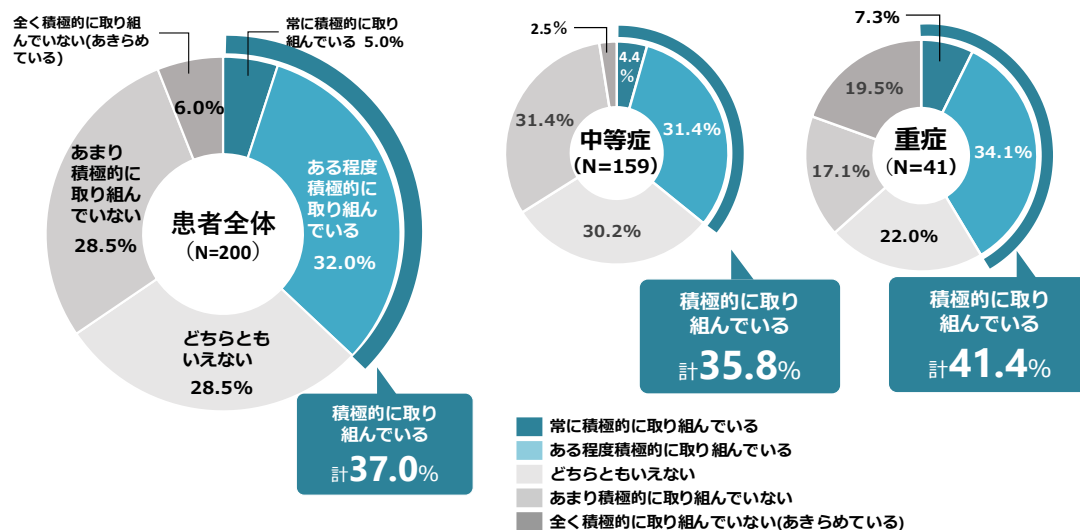
2. 67.0%の患者さんが「現在の症状の状態」に満足していない一方、「治療に積極的に取り組んでいる」と回答した患者さんは37.0%にとどまった

- 現在のアトピー性皮膚炎の症状の満足度について67.0%が「満足していない(全く満足していない、あまり満足していない)」と回答する一方で、治療に「積極的に取り組んでいる(常に積極的に取り組んでいる、ある程度積極的に取り組んでいる)」と回答した患者さんは37.0%に留まった。
- 重症度の高い患者さんほど、満足していない(82.9%)と回答している割合は多いが、積極的に治療に取り組んでいると回答した患者さんは41.4%にとどまった。

Q2-1. あなたは、現在のアトピー性皮膚炎の状態に満足していますか。



Q2-2. あなたは、現在のアトピー性皮膚炎の治療に積極的に取り組んでいますか。

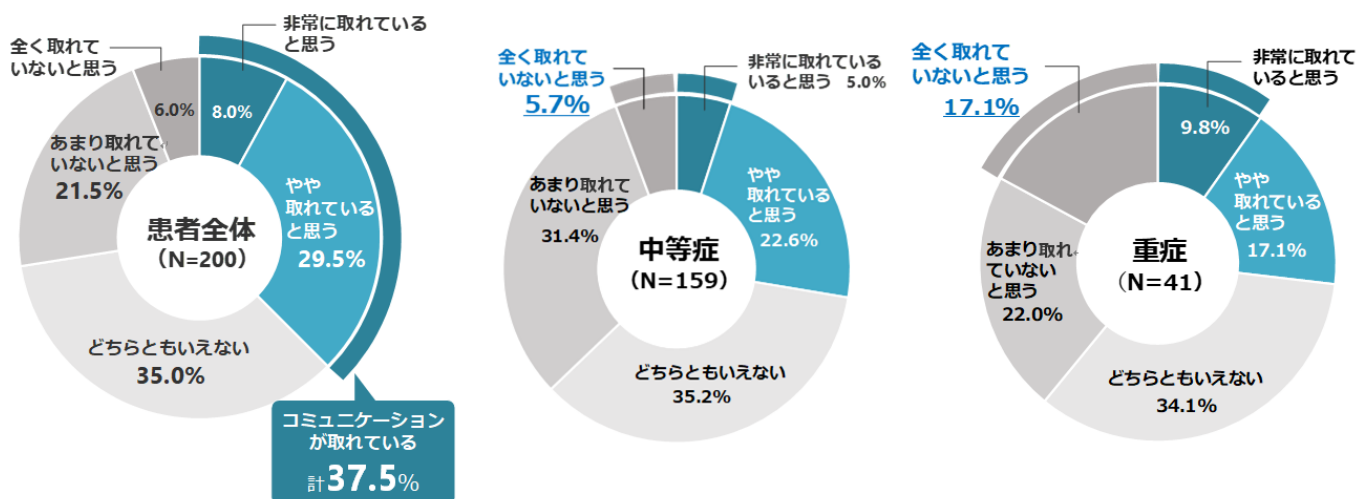




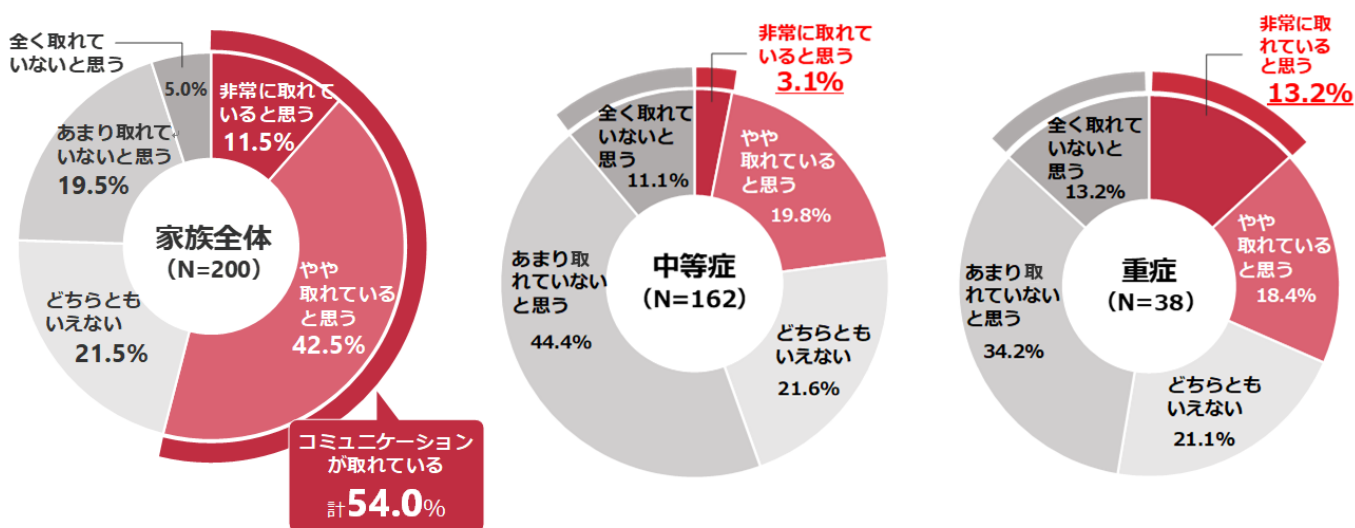
**3. ご家族の半数以上(54.0%)が患者さんご本人と「コミュニケーションが取れている」と回答した一方、同様に考えている患者さんは37.5%にとどまり、双方の認識にギャップがみられた**

- 症状や不安について、ご家族と「コミュニケーションが取れている(非常に取れていると思う、やや取れていると思う)」と考えている患者さんは37.5%であった。
- ご家族と「コミュニケーションが全く取れていないと思う」と回答した患者さんは、中等症5.7%に対し重症の患者さんは17.1%と顕著に高かった。
- 一方、半数以上となる54.0%のご家族が「コミュニケーションが取れている(非常に取れていると思う、やや取れていると思う)」と回答。また患者さんご本人と「コミュニケーションが非常に取れていると思う」と回答したご家族は、中等症3.1%と比べ重症は13.2%と増えており、患者さんご本人とご家族の認識に大きなギャップがみられる結果となった。

**Q3-1. あなたはご自身のアトピー性皮膚炎の症状について、ご家族と十分にコミュニケーションが取れていると思われますか。**



**Q3-2. あなたの家族のアトピー性皮膚炎の症状や不安について、本人と十分にコミュニケーションが取れていると思われますか。**

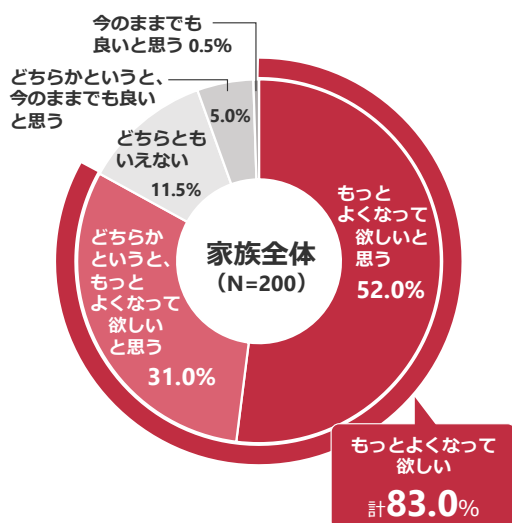




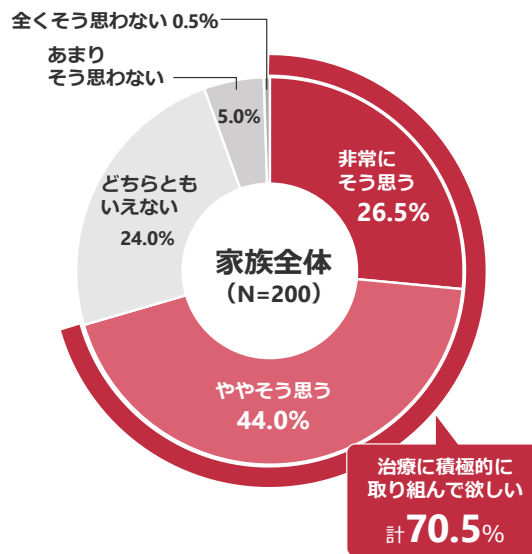
**4. 患者さんのアトピー性皮膚炎の状態について、ご家族の 83.0%が「もっとよくなってもらいたい」、70.5%が「症状改善のために治療強化に積極的に取り組んで欲しい」と思っている**

- 患者さんのアトピー性皮膚炎の状態について、「もっとよくなってもらいたい(もっとよくなって欲しいと思う、どちらかというともっとよくなって欲しいと思う)」と思っているご家族は 83.0%。
- アトピー性皮膚炎の症状改善のために「治療強化に積極的に取り組んで欲しい(非常にそう思う、ややそう思う)」と思っているご家族は 70.5%。

**Q4-1. あなたは、あなたの家族のアトピー性皮膚炎の状態に満足していますか。**



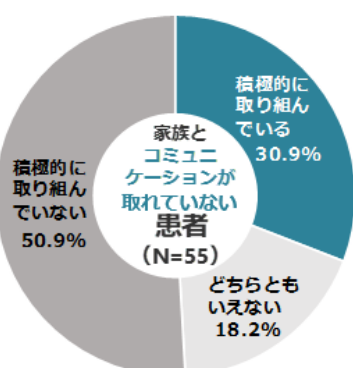
**Q4-2. 今後、あなたの家族にアトピー性皮膚炎の症状改善のために治療強化に積極的に取り組んで欲しいと思いますか。**



**5. ご家族と「コミュニケーションが取れている」と感じている患者さんほど、アトピー性皮膚炎の治療に積極的で、現在のアトピー性皮膚炎の状態への満足度も高い**

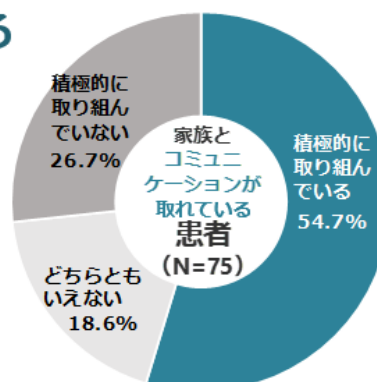
- ご家族とコミュニケーションが取れている患者さんほど、そうでない患者さんに比べて「積極的に治療に取り組んでいる」と回答。(コミュニケーションが取れている患者さん:「積極的に治療に取り組んでいる(54.7%)」、コミュニケーションが取れていない患者さん:「積極的に治療に取り組んでいる(30.9%)」)
- 家族とコミュニケーションが取れている患者さんほど、そうでない患者さんに比べて、現在のアトピー性皮膚炎の状態に「満足している」と回答。(コミュニケーションが取れている患者さん:「満足している(18.7%)」、コミュニケーションが取れていない患者さん:「満足している(10.9%)」)

**Q5-1. アトピー性皮膚炎の症状や不安について家族とコミュニケーションが「全く取れていないと思う」「あまり取れていないと思う」と回答した患者さんの、治療への取り組み方。**



**Q5-2. アトピー性皮膚炎の症状や不安について家族とコミュニケーションが「非常に取れていると思う」「やや取れていると思う」と回答した患者さんの、治療への取り組み方。**

**治療に対する積極性**





**Q5-3.** アトピー性皮膚炎の症状や不安について家族とコミュニケーションが「全く取れていないと思う」「あまり取れていないと思う」と回答した患者さんの、現在のアトピー性皮膚炎の状態に対する満足度。

**Q5-4.** アトピー性皮膚炎の症状や不安について家族とコミュニケーションが「非常に取れていると思う」「やや取れていると思う」と回答した患者さんの、現在のアトピー性皮膚炎の状態に対する満足度。

